

平成16年度
第23回全国高校生建築製図コンクール
第9回全国高校生建築CAD作品展
結果報告

第23回全国高校生建築製図コンクールおよび第9回全国高校生建築CAD作品展には、東日本建築教育研究会の加盟校および加盟校以外の先生方から、校務ご多忙にもかかわらず絶大なるご協力を頂きました事を厚くお礼申し上げます。

[] 応募状況

1. 応募校数

応募校数		全日制		定時制		加盟校				加盟校外			
						全日制		定時制		全日制		定時制	
H16	H15	H16	H15	H16	H15	H16	H15	H16	H15	H16	H15	H16	H15
75校	78校	70校	73校	5校	5校	63校	65校	5校	4校	7校	8校	0校	0校

2. 応募作品数

課題名	加盟校別	回数	学校数・作品数		全日制・作品数		定時制・作品数	
課題1	加盟校	H16	53校	140点	51校	135点	2校	5点
		H15	53校	131点	51校	127点	2校	4点
	加盟校外	H16	4校	12点	4校	12点	0校	0点
		H15	6校	16点	6校	16点	0校	0点
課題2	加盟校	H16	34校	77点	34校	77点	0校	0点
		H15	43校	101点	41校	97点	2校	4点
	加盟校外	H16	3校	9点	3校	9点	0校	0点
		H15	5校	11点	5校	11点	0校	0点
課題3	加盟校	H16	41校	99点	38校	95点	3校	4点
		H15	44校	83点	40校	77点	4校	6点
	加盟校外	H16	5校	12点	5校	12点	0校	0点
		H15	7校	18点	7校	18点	0校	0点
課題4	加盟校	H16	17校	39点	17校	39点	0校	0点
		H15	17校	45点	17校	45点	0校	0点
	加盟校外	H16	5校	12点	5校	12点	0校	0点
		H15	5校	13点	5校	13点	0校	0点
CAD作品展	加盟校	H16	4校	12点	4校	12点	0校	0点
	加盟校外	H16	2校	5点	2校	5点	0校	0点
応募校計		H16	417点(加盟校 367点・加盟校外 50点)					
		H15	418点(加盟校 360点・加盟校外 58点)					

3. 各課題応募作品数・学校数

		課題 1	課題 2	課題 3	課題 4	CAD作品展
1 点	H16	4校	6校	7校	6校	0校
	H15	7校	9校	18校	2校	-
2 点	H16	15校	13校	13校	3校	1校
	H15	17校	13校	16校	4校	-
3 点	H16	40校	18校	26校	13校	5校
	H15	33校	25校	16校	16校	-

4. 校内作品審査数の総計

		課題 1	課題 2	課題 3	課題 4	CAD作品展
加盟校	H16	1916点	916点	820点	365点	-
	H15	1426点	941点	749点	219点	-
加盟校外	H16	161点	142点	76点	63点	-
	H15	175点	144点	89点	82点	-
応募校計	H16	2077点	1058点	896点	428点	-
	H15	1601点	1085点	838点	301点	-

[] 入賞者一覧

課題 1 (軒先マワリ詳細図)			
賞	学校名	学科・学年	生徒氏名
金	愛知県立豊橋工業高等学校	建築土木科 1 年	大羽 健太
銀 1	静岡県立沼津工業高等学校	建設工学系 1 年	後藤 端歩
銀 2	群馬県立高崎工業高等学校	建築科 1 年	堀口 享
銀 3	埼玉県立熊谷工業高等学校	建築科 1 年	奥山 亜美
銅 1	栃木県立宇都宮工業高等学校	建築科 1 年	小嶋 悠起子
銅 2	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設科 1 年	津波古 裕太
銅 3	岐阜県立岐南工業高等学校	建築科 1 年	池田 圭太
銅 4	愛知県立豊橋工業高等学校	建築土木科 1 年	今泉 唯
銅 5	栃木県立宇都宮工業高等学校	建築科 1 年	高橋 和久
入選 1	松山聖陵高等学校	建築科 1 年	日野 嵩久
入選 2	市立仙台工業高等学校	建築科 1 年	高橋 直也
入選 3	長野県飯田長姫高等学校	建築科 1 年	村田 彩
入選 4	群馬県立高崎工業高等学校	建築科 1 年	大谷 竜哉
入選 5	松山聖陵高等学校	建築科 1 年	西岡 大地
入選 6	岩手県立久慈工業高等学校	建築科 1 年	大澤 唯香
入選 7	長野県長野工業高等学校	建築科 1 年	内山 雄基
入選 8	松山聖陵高等学校	建築科 1 年	水口 優太
奨励 1	東京都立墨田工業高等学校 (定)	建築科 2 年	森下 清史
奨励 2	東京都立小石川工業高等学校 (定)	建築科 2 年	中村 崇良

課題 2 (木造平家建専用住宅)			
賞	学校名	学科・学年	生徒氏名
銀 1	愛知県立豊橋工業高等学校	建築科 2 年	石井 信孝
銀 2	武蔵越生高等学校	建築科 2 年	新井 勝泰
銀 3	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設科 2 年	小林 久美
銀 4	東京都立蔵前工業高等学校	建築科 2 年	望月 麗
銅 1	長野県飯田長姫高等学校	建築科 2 年	黒澤 愛
銅 2	愛知県立豊橋工業高等学校	建築科 2 年	川上 直也
銅 3	愛知県立豊橋工業高等学校	建築科 2 年	竹下 勇哉
銅 4	兵庫県立兵庫工業高等学校	建築科 2 年	今福 宏美
銅 5	長野県飯田長姫高等学校	建築科 2 年	石原 浩貴
銅 6	松山聖陵高等学校	建築科 2 年	上田 啓太
銅 7	愛知県立半田工業高等学校	建築科 2 年	森田 篤史
入選 1	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設科 2 年	深町 香菜子
入選 2	松山聖陵高等学校	建築科 2 年	宇都宮 匡史
入選 3	愛知県立半田工業高等学校	建築科 2 年	斎藤 裕也
入選 4	岐阜県立岐南工業高等学校	建築科 2 年	山田 佳知
入選 5	愛知県立半田工業高等学校	建築科 2 年	三井 将矢
入選 6	栃木県立宇都宮工業高等学校	建築科 2 年	篠原 真奈美
入選 7	松山聖陵高等学校	建築科 2 年	景浦 悠平
課題 3 (木造 2 階建専用住宅)			
賞	学校名	学科・学年	生徒氏名
銀 1	松山聖陵高等学校	建築科 2 年	仙波 慶至
銀 2	兵庫県立龍野実業高等学校	建築科 3 年	黒田 雅也
銀 3	名古屋市立工芸高等学校	建築学科 3 年	梅村 優大
銀 4	名古屋工業高等学校	建築科 2 年	宮田 大士
銅 1	安田学園高等学校	建築科 3 年	柴野 将之
銅 2	愛知県立半田工業高等学校	建築科 3 年	竹内 一輝
銅 3	愛知県立半田工業高等学校	建築科 3 年	都筑 伸宏
銅 4	松山聖陵高等学校	建築科 2 年	清家 啓延
銅 5	神奈川県立神奈川工業高等学校	建設科 3 年	森川 百合
銅 6	千葉県立市川工業高等学校	建築科 3 年	大下 祐治
入選 1	愛知県立豊橋工業高等学校	建築科 3 年	小久保 彩
入選 2	日本工業大学付属東京工業高等学校	建築科 3 年	山下 高宏
入選 3	安田学園高等学校	建築科 3 年	清水 良輔
入選 4	日本工業大学付属東京工業高等学校	建築科 3 年	竹内 宏行
入選 5	神奈川県立神奈川工業高等学校 (定)	建設科 4 年	大石 晃司
入選 6	兵庫県立龍野実業高等学校	建築科 3 年	竹内 勝彦
奨励 1	千葉県立葛南工業高等学校 (定)	建築科 3 年	高山 亜希子

課題4 (CAD製図)			
金	関東第一高等学校	建築科3年	新貝 裕樹
銀1	千葉県立市川工業高等学校	建築科3年	菅原 政紀
銀2	愛知県立豊橋工業高等学校	建築科3年	加藤 義法
銅1	松山聖陵高等学校	建築科3年	河合 辰哉
銅2	愛知県立豊橋工業高等学校	建築科3年	桐山 延通
銅3	松山聖陵高等学校	建築科3年	杉之内 亮
銅4	山梨県立甲府工業高等学校	建築科2年	小幡 智一
銅5	愛知県立豊橋工業高等学校	建築科3年	後藤 勢治
銅6	関東第一高等学校	建築科3年	石沢 誠也
銅7	山梨県立甲府工業高等学校	建築科2年	小川 翔太
入選1	兵庫県立兵庫工業高等学校	建築科2年	岩田 大史
入選2	宮城県立古川工業高等学校	建築科3年	佐藤 千明
入選3	兵庫県立兵庫工業高等学校	建築科2年	中垣 綾佳
入選4	愛知県立一宮工業高等学校	建築科3年	工川 晃廣
入選5	兵庫県立兵庫工業高等学校	建築科2年	半田 愛美
入選6	山梨県立甲府工業高等学校	建築科2年	川手 祐介
CAD作品展			
インフォテクス賞	東京都立田無工業高等学校	建築科3年	吉田 圭吾
スペースクリエイト賞	東京都立田無工業高等学校	建築科3年	鈴木 伸英
ハートフル賞	東京都立田無工業高等学校	建築科3年	黒河内 智寛
ハリアリー賞	関市立関商工高等学校	建築科3年	加藤 力哉
ユニバーサルデザイン賞	関市立関商工高等学校	建築科3年	神谷 栄臣
コンパクトプラン賞	関市立関商工高等学校	建築科3年	河村 あゆみ
ベストデザイン賞	松山聖陵高等学校	建築科2年	宮田 昭
ガーデニング賞	松山聖陵高等学校	建築科2年	森田 祐輝
ドローイング賞	愛知県立豊橋工業高等学校	建築科3年	千賀 拓徳
ステイ賞	愛知県立豊橋工業高等学校	建築科3年	近田 尚己
ベシクプラン賞	愛知県立豊橋工業高等学校	建築科3年	柳田 竜也
ビジュアル賞	佐賀県立鳥栖工業高等学校	建築科3年	天本 麻菜美
プレゼンテーション賞	佐賀県立鳥栖工業高等学校	建築科3年	古賀 一樹
テクニカル賞	佐賀県立鳥栖工業高等学校	建築科3年	常数 大司
イメージング賞	関東第一高等学校	建築科2年	井上 浩平
グラフィックデザイン賞	関東第一高等学校	建築科2年	野口 貴志
コミカ賞	関東第一高等学校	建築科1年	真田 健太郎
			大見 玲依
			小林 尚貴

[] 審査報告

(1) 課題1から課題4およびCAD作品展を審査するにあたって、各課題のチーフを決め審査講評をまとめてもらいました。各課題のチーフの先生方は、

課題1 峰 孝一(京葉工)

課題2 小島 聡(葛南工定)

課題3 福島 勝(日工大付東京工)

課題4 吉城 守(春日部工)

CAD作品展 五月女 勉(小山北桜高)

です。

(2) 審査にあたり、CAD作品展を除き課題1から課題4まで各課題の複写図を用意しました。

課題1・4は、コピーの複写図。コピーの濃淡によって複写図の善し悪しないように、濃淡は自動に設定しました。

課題2・3は、青焼きの複写図。青焼きの速度によって複写図の善し悪しないように、速度は自動に設定しました。

CAD作品展はカラーコピー機がないため原図で審査しました。

(3) 課題1から課題4まで全複写図の表題欄をカットしました。CAD作品展の原図は表題欄を伏せました。

課題1から課題4まで金・銀・銅に該当する作品は最後に原図にて確認しました。

(4) 入賞のポイント

a) 課題1

参考図を製図の基本に従って忠実に模写するものです。線の太さの区別・文字の大きさ・文字の形・部材の配置などがポイントになりました。

b) 課題2

参考図を模写する部分(平面図)と、設計要素と表現力を必要とする部分(配置図、立面図、断面図)の内容です。立面図・断面図の表記内容と造園計画(表現力)が、ポイントになりました。

今年度は、課題指示の勝手により2種類の作品エントリーとなってしまいましたが、審査基準を、図面表現力、正確な作図表現とし、設計要素部分での工夫や努力と平面図・立面図の不整合及び正確な図面表記を総合的に判断しました。

c) 課題3

設計製図を審査するものであり、配置・平面・意匠・構造計画と、製図力・表現力などトータルなもので審査しました。平面・立面・構造計画が優れており、図面表現がポイントになりました。

d) 課題4

与えられた間取り・敷地から配置図兼1階平面図(造園計画を含む)と2階平面図を作図する内容で、表現は製図規約に基づきます。課題内容を良く把握し、図面の基本がしっかりと出来ているかがポイントになりました。

e) CAD作品展

各学校から推薦された全参加作品に、その作品の特徴に応じた賞をつけました。

(4) 審査経過

チーフの先生を中心に各課題ごとにチェックポイントを定め、計画・構造・施工・製図の各分科会委員の先生方が担当し、それぞれの専門分野から減点方式により審査しました。最終的には委員全員が投票を行い、厳正かつ公平に実施しました。

a) 課題 1 から課題 4

金賞・銀賞・銅賞作品といえども、未熟なミスがあります。未熟なミスの少ない作品が上位になりました。

b) CAD 作品展

使用するソフトが持っている独自の作図表現があるため、あくまで部品入力にたよらない作図表現によるものとなりました。

[] 審査講評

(1) 課題 1 から課題 4

減点項目

課題 1 軒先マワリ詳細図
<ul style="list-style-type: none">・線種の明確な区別（太さ、線種）がなされていない・軒の出寸法、野縁の位置（ピッチ寸法）、各部材（野縁、鼻隠、広小舞、垂木、屋根下地）の大きさが不正確・部材名称の誤表記、誤字・部材名称、引出し位置が不適切・雨樋の大きさが指示寸法で表現されていない・羽子板ボルトの形状寸法が規格寸法で表示されていない・垂木の見え隠れの表現が明確でない・屋根勾配と勾配表記が平行でない
課題 2 木造平家建専用住宅
<ul style="list-style-type: none">・道路表記がない・敷地境界線から建築物までの距離が未記入・切断位置の表記もれ、方向違い・図面間の不整合が多い・曲面の寸法表記なし・屋根の表現（構造の理解不足含む）・添景表現（車両等の基本寸法の理解不足）
課題 3 木造 2 階建専用住宅
<ul style="list-style-type: none">・柱の記入もれ、通し柱の表示がないまたは過多・道路と敷地の高低差の表示もれ・隣地境界線の寸法記入もれ・通り芯の記入もれ、符号不一致・上部吹抜けの表示もれ・断面図の寸法記入もれ・切断位置の表示もれ、方向間違い・線の使い分け・文字、数字の不揃い・断面図としての表現力（書き込み不足・高さ・開口部・切断位置等）がとぼしい・造園計画の不足、書き込み不足および描きすぎて平面図が明確ではない・構造を無視した計画・図面相互の不一致

課題4 CAD製図

- ・所要室の欠落
- ・駐輪スペースの不足
- ・1階洗面コーナーが部屋になっている
- ・方位、道路、寸法等の表記もれ
- ・通り芯の表記もれ、符号不一致
- ・柱の記入もれ、通し柱の表示が無い又は過多
- ・方位、道路、寸法、隣地境界線等が未記入
- ・構造的に必要な柱の位置が未検討及び柱の配置が過多
- ・階段の表記がおかしい
- ・添景を多用したため表現が過剰となっている

総評

課題1 軒先マワリ詳細図

【審査の経緯】

軒の出寸法、野縁の位置をチェック。

各部材（野縁、鼻隠、広小舞、垂木、屋根下地）の大きさをチェック。

正確な記入表現及び屋根勾配（勾配表示を含む）をチェック。

線種の明確な区別（太さ、線種）がなされているかを審査した。

【総評】

作図の正確さ（適切な表現）に主眼を置き審査をした。線種の区別では優れた作品でも、正確な作図がなされていない図面が多数あった。

金賞に輝いた図面は、作図が正確であり不適切な記載が見あたらず、線種の表現においても適切に表現された作品であった。銀賞の作品は、作図の正確さでは差がなかったが、線種の表現において未熟さを感じられる部分がマイナスポイントとして評価の分かれ目となった。前年度の総評にも記載されていたが、今年度も作図の正確さにおいて基本寸法をおさえていない作品が多数目立った。

作図の手順・正確な寸法の取り方を理解させ、線の太さ等の使い分けにより優れた表現が出来るようにしたい。

複写図で審査をすることから、コピーによる図面の変形で寸法に誤差が出たのではないかとの意見もあり、上位作品については原図でチェックをおこなった。その結果、上位入賞作品は正確に描かれていることを確認した。

課題2 木造平家建専用住宅

屋根仕上げに工夫が見られ、細部まで細かく描き込まれた作品や屋根形状を工夫するなど発想力豊かな作品等意欲の高い作品が多く見られました。

それらの作品のいずれも平面図・立面図の不整合や、切断線の欠落や視方向の不一致等、図面全体としての整合性に欠け、金賞受賞作品に値しないと判断し、金賞作品の該当なしとしました。

また、玄関アプローチ廻りの動線計画や、勝手口廻りのサービスヤードの配置に工夫が見られる作品が多く、課題への取り組み意欲の高さが見られました。反面、造園計画に変化がなく、ただ樹木や池、テラス等が何の意図も感じられない配置となっていて、庭に出て見る池や、各部屋から眺める庭のイメージが捉えにくい作品も多く見られました。

同様に、添景表現の過多により、平面図が沈み込み図面全体の見栄えを悪くしている作品も多く見られました。あくまでも平面図の補助表示としての添景描写を意識する必要があるように感じます。次年度は、平屋建住宅としての立面図・断面図の工夫と、屋内と外部空間を結ぶ動線と眺望を考慮した作品を期待します。

課題3 木造2階建専用住宅

【審査の経緯】

基礎製図力と規定に基づいて審査をした。

記入もれ、構造的な不一致などの審査をした。

設計主旨に基づいて設計がなされているかを主題に、整合性・面積・造園などの総合審査をした。

審査経緯の説明を行い、審査員全員の投票により順位を決定した。

【総評】

- ・例年になく応募作品が多く全体的に意欲が感じられたが、全体的に創意工夫が乏しく、図面が単調なものが多く見受けられ、金賞に値する作品がなかった。
- ・インパクトのある作品、傑出した作品が少なかった。
- ・複雑な形態を追いながら、練り切れていないものが多い。
- ・今年度は、ミスの少ない基本を生かした作品が上位に入賞した。

課題4 CAD製図

【審査の経緯】

規定（要求事項）に基づいて審査をした。

- ・ユーティリティ、駐車・駐輪スペース、1階洗面コーナー等をチェック。

図面に必要な表記もれなどの審査をした。

- ・方位、寸法、道路、敷地境界線、柱位置等をチェック。

設計図面として正しく情報を伝える図面内容になっているかを総合的に審査した。

昨年度の課題は図形部品の張り付けに力が注がれている作品が多かったこともあり、今年度は、より設計製図としての図面内容になるよう課題を設定した。従って、それぞれのCADの持つ性格やプリント状態などは審査の観点としなかった。

課題内容を正確に把握し、図面の基本がしっかりとできているものを上位作品とした。しかし、柱の配置や寸法の基本的なミス、ユーティリティの理解が不足している作品が入賞の中にも見られた。

(2) CAD作品展

賞名	学校・学科・学年・氏名	講評
インフォマティクス賞	東京都立田無工業高等学校 建築科3年 吉田 圭吾	表現力がとてもすばらしい作品です。外観もアンモナイトをイメージしており、大変印象に残る設計です。
スペースクリエイト賞	東京都立田無工業高等学校 建築科3年 鈴木 伸英	広々とした空間構成のプランや、トップライトで光を入れたり、随所に工夫がみられる作品です。
ハートフル賞	東京都立田無工業高等学校 建築科3年 黒河内 智寛	ホールのステージはとても良いアイデアです。また、郷土色を出しておりとても情緒あふれる宿です。
バリアフリー賞	関市立関商工高等学校 建築科3年 加藤 力哉	LDKを一つの空間にして出入口を少なくしているのも、バリアフリー対策になっていて良いと思います。
ユニバーサルデザイン賞	関市立関商工高等学校 建築科3年 神谷 栄臣	大変すばらしいプランです。広々とした間取りは、特に高齢者には使いやすく過ごしやすい家です。
コンパクトプラン賞	関市立関商工高等学校 建築科3年 河村 あゆみ	広いリビングを中心にして各部屋につながっており、無駄のない動線計画でとても良いです。
ベストデザイン賞	松山聖陵高等学校 建築科2年 宮田 昭	大変現実的ですばらしい作品です。すぐにでも設計図として通用する作品だと思います。
ガーデニング賞	松山聖陵高等学校 建築科2年 森田 祐輝	造園設計のすばらしさと、CADを駆使した表現力にととても感心しました。
ドローイング賞	愛知県立豊橋工業高等学校 建築科3年 千賀 拓徳	JW-CADでここまで精密に描くには、大変な苦労があったと思います。プランにも工夫が見られます。
スタディ賞	愛知県立豊橋工業高等学校 建築科3年 近田 尚己	JW-CADで課題4に挑戦した意気込みと、手書き製図と遜色ない出来映えはすばらしいと思います。
ベーシックプラン賞	愛知県立豊橋工業高等学校 建築科3年 柳田 竜也	プランニングの基礎が、しっかりとできている印象を受けました。さらに発展させると楽しいですね。
ビジュアル賞	佐賀県立鳥栖工業高等学校 建築科3年 天本 麻菜美	図面もこのようにカラフルでビジュアルに表現すると、とても説得力があり作品が引き立ちます。
プレゼンテーション賞	佐賀県立鳥栖工業高等学校 建築科3年 古賀 一樹	庇の影など、とても表現が良く作品を引き立てています。また、プランニングもとても良い出来です。
テクニカル賞	佐賀県立鳥栖工業高等学校 建築科3年 常数 大司	線の表現・文字・寸法等どれも基本に忠実に書いており、きちんと製図を勉強しています。
イメージング賞	関東第一高等学校 建築科2年 井上 浩平	何かイメージが湧いてきそうな作品です。2年生で良くがんばりました。
グラフィックデザイン賞	関東第一高等学校 建築科2年 野口 貴志	一番目につく作品です。人の目を引きつけるデザインと、色のコントラストがすばらしいです。
コミカル賞	関東第一高等学校 建築科1年 真田 健太郎 大見 玲依 小林 尚貴	サザエさんの家の間取りを書きながらCADを学習するのは、とても楽しそうです。審査員の先生方からも、笑みがこぼれていました。

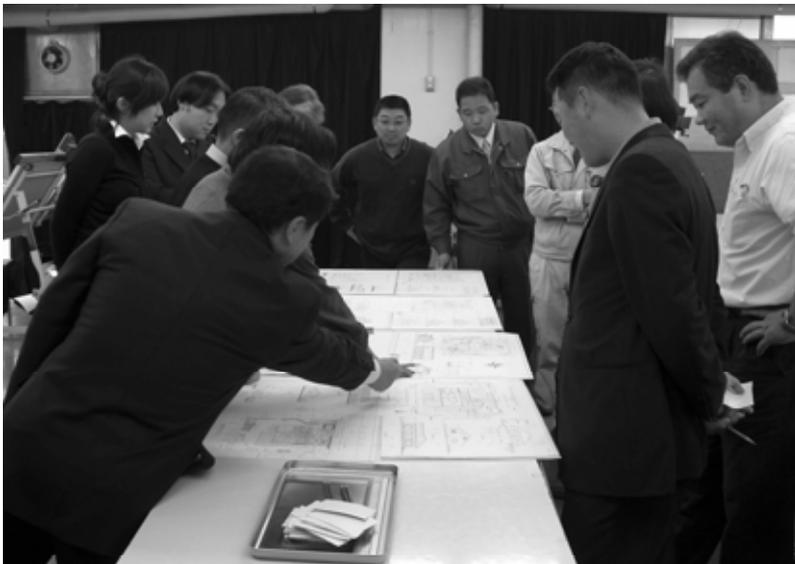
[] 審査委員

第23回全国高校生建築製図コンクールおよび第9回全国高校生建築CAD作品展の、審査・作品開封・作品梱包・作品発送などに携わって頂いた先生方は以下の方々です（敬称略、順不同）。

福島 勝（日工大付東京工）	高橋 篤史（安田学園）	橋本 政美（昭和第一学園）
五月女 勉（小山北桜）	吉野 博行（熊谷工）	角田 勝男（神奈川工）
筒井 斉（神奈川工定）	吉城 守（春日部工）	小島 聡（葛南工定）
小島 正巳（前橋工）	荒木 宏道（前橋工定）	落合 知枝（葛西工）
鈴木 隆（墨田工）	飴谷 知久（安田学園）	峯 孝一（京葉工）
小沢 宏（蔵前工）	菊池 貞介（市川工）	笹崎 ひろみ（田無工）
池田 健司（大宮工）	菅谷 太郎（川越工）	

来年度も審査講評を参考にして頂き、ご応募くださるようお願い申し上げます。

なお、審査結果は「住宅建築」（建築資料研究社刊）平成17年3月号（次ページ参照）に、課題3の銀賞作品の図版入りで、入賞者一覧表も掲載（CAD作品展は除く）しました。



平成17年4月1日
製図コンクール運営委員長
塩澤 泰